

Q 町民の安全について (歩道・カーブミラー設置)



藤本議員

A 町民の方からの要望により設置の審査をしている (森本建設課長)

A 町民の方の要望から検討しており、全ての状況は把握していない。特に歩道設置は、用地取得等により多大な費用と時間が必要。整備困難な箇所は、外側線の設置などにより歩行者の安全に努めていく。
カーブミラーは要望申請に基づき、現地調査によつて審査を行い、必要に応じて予算の範囲内で設置していく。

Q 歩道、カーブミラーなどで、不十分な箇所がどの程度あるのか。また改善の場所・件数・時期についての計画はどうか。

Q 県道31号呉平谷線歩道改良について

A 今後とも県に対して強く要望していきたい (上馬場建設部長)



富士議員

Q 県道31号呉平谷線の荻野橋から境橋の間は、歩道は白線のみで狭く、非常に危険である。路肩を新設して、歩行者の安全を確保しては。

A 荻野橋付近の歩道がない区間は、通行車両の減速を促す路面標示を設置するなど、現時点でできる安全対策を講じている。歩道の整備については、県の中で新規事業として道路整備計画に位置付けを行う必要があるため、今後とも県に対して強く要望していきたい。

Q 道路行政について

A 新設や改良工事などにより対応していく (上馬場建設部長)



福垣内議員

A 狭小な町道は、離合場所の設置など局部改良工事を実施している。自転車通学については、安全性の高い道路を通学路にできないか教育委員会とも協議したい。遊歩道は海田町とも協力し、海田総合公園に至る遊歩道の整備に取り組んでいる。幹線道路は町道2路線を実施する。

Q 町民の安全を守るための生活道路対策は。自転車通学で特に危険な箇所とその対策は。町民の健康と安全を考えた遊歩道の計画は。幹線道路の今後の展望は。



南田議員

Q 今後の町の行政について (主要な建設事業)

A 深原町有地は新年度で保安林解除等に入りたい (三村町長)
県道は概ね計画どおりと伺っている (上馬場建設部長)

A 深原町有地の造成は、国の補助を前提に進めていたが、新政権で公共事業見直しが行われるなど、事業採択が遅れた。21年度予算で測量業務に着手し、新年度予算で保安林解除等の協議に入りたい。
県道瀬野呉線と町道昭和線等の取り付けは、当初計画と変更はないが、地形変化により一部修正設計の必要があると伺っている。県道矢野安浦線の黒瀬トンネルでは、入り口に向けた町道付け替えの改良工事が本格化している。

Q 深原の保安林開発のため、昨年9月定例会で約1億円の予算が計上されたが、進捗状況は。また、県道瀬野呉線と町道部分の取り付けは。県道矢野安浦線黒瀬トンネルの進捗状況は。

Q 耕作放棄地の増加に伴う農業政策について

A 住民からのニーズや活動があれば
家庭菜園の増設・拡大も検討していく (森本建設課長)



佛圓議員

A 町内には安芸農業協同組合が管理する家庭菜園(レジャー農園)が川角・呉地・萩原の3地区にあるが、それぞれ若干の空きがある状況。その他にも民間の活動による家庭菜園が存在しているが、数については把握していない。
今後耕作放棄地は増加が予想されるため、住民からのニーズや活動が高まってくるようであれば、安芸農業協同組合とも連携し、家庭菜園の増設・拡大を検討していきたい。

Q 高齢化のため、耕作放棄地が増加している。団塊の世代を活用し、生きがいと健康づくりを兼ねた、耕作放棄地の有効活用を安芸農業協同組合と共同で行うてはどうか。